

会長挨拶

曾根まちづくり研究会  
会長 井田 静子



平素は、曾根まちづくりに研究会の活動に、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

例年五月に開催致しております定期総会は、新型コロナウイルス感染症予防のため「三密」を避け、書面送付にて議案決議を行うこととなり、令和二年五月二十二日に送付を実施。五月三十日をもって皆様より無事ご承認をいただきました。

日本中が期待を膨らませた、「東京オリンピック・パラリンピック2020」は、誰もが予想しなかった事態になり、心を痛めております。

曾根の風物詩として、定着しております夏祭り、「曾根サマーフェスティバル2020」も、先日中止が決定いたしました。

五月二十一日には、やっと緊急事態宣言が解除され少しほっといたしました。第二波が来ると言う不安もあり、安心ばかりはしてられない状況です。事業主の方々にも大変な営業だった事とお察しいたします。また、忘れてはならないのは、医療従事者をはじめエッセンシャルワーカーの皆さんのこと、献身的なご努力には感謝でいっぱいです。

私共、曾根まちづくり研究会としても、微力ではありますが、何らかの応援をしたいとおもい、夢の樹ひろば・夢の樹とおりのイルミネーションの光を輝かせて、少しでも皆様の気持ちに灯をともしればと計画しております。

今後とも曾根まちづくり研究会にご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。  
皆様におかれましても一日も早く安心な暮らしが取り戻せますようお願い申し上げます。くれぐれもご自愛ください。

令和元年度活動報告

●8月24日/ないす曾根24号発行 ●8月24日/曾根サマーフェスティバル2019開催

令和2年度活動計画

- ①光のライン構想の再構築・リニューアル ②広報誌「ないす曾根」の発行 ③曾根サマーフェスティバルへの参加
- ④夢の樹ひろば・夢の樹とおりの活用 ⑤曾根の歴史の探求

令和2年の総会は、書面の送付による議案決議といたしました。

令和2年5月22日全曜日、「曾根まちづくり研究会令和2年度総会議案書」(令和元年度活動報告・令和元年度会計報告・令和2年度活動計画案・令和2年度予算案)の送付を実施。5月30日土曜日をもって皆様より無事ご承認を頂きました。

新型コロナウイルス感染症の流行の中、書面の送付という通常ではない形での決議にも関わらず、会員の皆様のご協力で、議決いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

星涼し 夢の樹ひろばに 白き夜

星物語

曾根駅の改札を抜けるとそこは星の国だった。今日も家路を急ぐ人たちが溜まる。いつもはスクランブル交差点の赤と緑、あるいは黄色しか目に入らない帰り人の目にも、今日は噴水あたりに鮮やかな金色が映る。「ちよと遠回りして帰ろうか」といった心の声も聞こえてきそうな夜、あたかも隣り合わせた人の心同士が会話したかのように、人の波は心なしが駅前噴水あたり、そう「夢の樹ひろば」を目指す。ややもするとうつむきがちなお疲れ人の視線が上を向く。時計台、噴水、ひろばの樹々に、綺羅星がごとく「ED」の花が咲き、その先は満天の星空へと続く。今宵こそ、五感、六感を研ぎ澄まし、昔仰いだ夜空、昔読んだ星物語、昔ときめかせた胸の深奥に語りかけよう、格別のサマーフェスティバルの本舞台のだから。

発足して四半世紀あまりになる私ども「曾根まちづくり研究会」(通称「まち研」)では、当初から「光のライン」構想を活動テーマのひとつに掲げてきました。いったんはその継続の危機に直面しましたが(本紙第23号)、コロナ禍中、此処を先途と、今回夏と冬のイルミネーション復活を決断しました。夏には、八月ひと月間、即効性ある二千五百球近くのゴールドの華やかさで。冬には、白・青を加えてその三倍ほどの豪華さで、温かみや爽やかさを伝える色鮮やかな「ED」が令和時代人の心を癒し、また絆を深めてくれるに違いありません。

曾根のランドマーク、そして皆さんの心の星、パワースポットとなるように、曾根の街を愛おしく思う「まち研」の老若男女が気持ちを奮い立たせて皆さまに送るエールです。どうぞお受け取りください。

# 第27回 曾根サマーフェスティバル中止

2020年8月1日 曾根サマーフェスティバル2020実行委員会  
委員長 安家 比呂志

曾根サマーフェスティバル実行委員会は6月4日に緊急会合を開き、今年度のフェスティバルの開催を「中止」することを正式に決定しました。

例年、多くの皆様に協賛やボランティアなど温かいご協力をいただいております。また地域の皆様にもご理解をいただいております。今年1万人を超える、ご家族連れにも楽しんでいただける夏の風物詩として、曾根のまちに定着しましたこの夏祭り。コロナ禍によって様々なイベントが中止される中で、せめてこどもたちの想い出づくりと開催に向けた検討を重ねてきましたが、様々なリスクを鑑みると、お客様をお迎えし、楽しんでいただくことは困難であると判断いたしました。とりわけ今年は、豊中市の「文化芸術振興助成金」の対象事業に採択させていただき、中止は断腸の思いです。

この困難を力を合わせて乗り越え、来夏にはさらにパワーアップした曾根サマーフェスティバルとなるよう、実行委員会としても力を尽くしてまいります。その折には、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 曾根サマーフェスティバルのあゆみ

- 1993.8.28** [H.5] 第1回 曾根サマーフェスティバル
- 1994** [H.6] 曾根停車場線を歩行者天国にして開催  
消防音楽隊演奏・ビンゴゲーム開始
- 1995** [H.7] 阪神淡路大震災のため中止
- 1998** [H.10] 来場者アンケートを実施/継続希望は97%
- 2000** [H.12] 池田銀行(現池田泉州銀行)前に特設ステージ(本部)  
タンネ西側・しまや(現天鬼)前でバンド演奏(サブステージの原型)  
開催時間午後5:00から9:30まで(現行と同じ)
- 2001** [H.13] オープニングに一中スクールバンドが登場  
ビンゴゲーム空くじなしになる
- 2002** [H.14] 本部を道路北側(現三井住友銀行)に置く(翌年から現行の場所に戻る)
- 2004** [H.16] ヒップホップダンスエントリー・エイサー披露
- 2006** [H.18] 公募にて曾根停車場線が「夢の樹とおり」と命名される  
それに先立って駅前広場が「夢の樹ひろば」と命名され  
冬には、第1回クリスマスコンサートイルミネーション点灯式を開催
- 2007** [H.19] 「夢の樹とおり」が三車線に拡張される
- 2010** [H.22] 夢の樹ひろばに「ライブステージ」を開設
- 2011** [H.23] 会場に東日本大震災義援金箱を設置
- 2013** [H.25] 第20回記念オリジナルソング  
「曾根夢の樹音頭」発表(作 南山正義)  
ビンゴゲーム空くじありに戻る
- 2013~15** [H.26~27] 中心市街地にぎわい事業助成金でステップup
- 2016~18** [H.28~30] 豊中魅力アップ助成金でスケールupされた
- 2019** [R.元] ビンゴゲーム中止(混乱回避のため)
- 2020** [R.2] 1995年以来2回目となる開催中止  
(COVID-19 コロナウイルス禍のため)

History 1993-2020

ないす曾根 NICE SONE  
発行：曾根まちづくり研究会 1 1993年8月

曾根まちづくりシンポジウム 開催される！

ある6月16日(水)、豊中市民会館において、曾根まちづくりシンポジウムが開催されました。平成28年2月から始まった、阪急電鉄の連続立体交差事業の工事のために、人の流動変化がここ、それに伴う街の変化をきたし、それによって大きな不安と危機感を抱いた人達が集まって結成された、SS(曾根・商業)プロジェクトのメンバーが果たに、曾根まちづくり研究会と名を改め、広く地域住民に呼びかけ、進めざるを得ない状況変化をめぐると曾根商店会、豊中市の協力によってこのシンポジウムを開催するはこびとなりました。

1	1993.8.28	第1回 曾根サマーフェスティバル
2	1994	曾根停車場線を歩行者天国にして開催 消防音楽隊演奏・ビンゴゲーム開始
3	1995	阪神淡路大震災のため中止
4	1998	来場者アンケートを実施/継続希望は97%
5	2000	池田銀行(現池田泉州銀行)前に特設ステージ(本部) タンネ西側・しまや(現天鬼)前でバンド演奏(サブステージの原型) 開催時間午後5:00から9:30まで(現行と同じ)
6	2001	オープニングに一中スクールバンドが登場 ビンゴゲーム空くじなしになる
7	2002	本部を道路北側(現三井住友銀行)に置く(翌年から現行の場所に戻る)
8	2004	ヒップホップダンスエントリー・エイサー披露
9	2006	公募にて曾根停車場線が「夢の樹とおり」と命名される それに先立って駅前広場が「夢の樹ひろば」と命名され 冬には、第1回クリスマスコンサートイルミネーション点灯式を開催
10	2007	「夢の樹とおり」が三車線に拡張される
11	2010	夢の樹ひろばに「ライブステージ」を開設
12	2011	会場に東日本大震災義援金箱を設置
13	2013	第20回記念オリジナルソング 「曾根夢の樹音頭」発表(作 南山正義) ビンゴゲーム空くじありに戻る
14	2013~15	中心市街地にぎわい事業助成金でステップup
15	2016~18	豊中魅力アップ助成金でスケールupされた
16	2019	ビンゴゲーム中止(混乱回避のため)
17	2020	1995年以来2回目となる開催中止 (COVID-19 コロナウイルス禍のため)

「まち研」の立ち上げメンバーで、長年副会長を務められ、対外交渉、夢の樹ひろばの整備や青写真の提案(本紙第10号掲載)等にご尽力くださった、山田 仁さん(株式会社ワールドフーズ「ルフラン」)が逝去されました。ここに、謹んでお悔やみを申し上げます。

**編集後記** なくなってしまっ改めて気付かされる、地域における曾根サマーフェスティバルの大きな役割。今号はコロナ禍のため、取材にも出られず、残念ながら2ページの紙面となってしまいました。来年のニュースは充実の4ページへ戻すぞと気合いだけは十分。そのためにも、三密を避け、マスク・手洗い・うがいなどで自己防衛をして、協力してこのコロナ禍を乗り越えたいものです。今後とも曾根まちづくり研究会へのご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。